べっぷの文化財

No.55
令和７年３月

－ふるさと別府の地に育まれた巨樹の名木－

野田 姫山の巨樹 スダジイ

別府市教育委員会
別府市文化財保護審議会

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・1

調査と整理・・・・・・・・・・・・・・・・2

別府の巨樹の特色・・・・・・・・・・・・・2

　　1．常緑樹と落葉樹

　　2．最も多い樹種

　　3．別府の巨樹 10 撰

代表的な巨樹・・・・・・・・・・・・・・・10

巨樹がつくる優れた緑地や木立・・・・・・・12

　　1．シンボルとして生きる巨樹・名木

　　2．神社や広場の緑地をつくる巨樹

　　3．森の中の巨樹

　　4．外国産の巨樹

巨樹の保全について・・・・・・・・・・・・22

ふるさと別府の地に育まれた巨樹と名木

はじめに

市内を散策すると古刹や歴史のある神社の境内では、どっしりと根を張って生きながらえた巨樹に出くわす。ふるさとの地にたくましく生きながらえた巨樹は、私たちの暮らす地域の自然の象徴的な存在である。それらは古い時代から信仰の対象となり、心のよりどころとして頼りにされ、地域のシンボルとなることもあった。何百年もの長い間、風雪に耐え、生き抜いてきており、その存在自体が一つの歴史であり、今日までかけがえのない文化財（天然記念物）として守られてきた。

ところが、経済優先社会になって急激な開発計画が進むと、原生林は伐採され里山の森の多くはスギやヒノキの植林地に変わっていった。この急激な社会変化に対し当時の環境庁は昭和63 年に優れた自然環境の保全を目的として巨樹や名木の調査を実施した。この時、巨樹を胸高幹周（地上 1.3m で 300cm 以上）で定めた。別府市ではそれに先んじて昭和 4 9 年環境保全条例を制定し巨樹を含む自然保護に関する調査を開始している。調査は委嘱した専門調査員が行い報告されたものの中から審議会で適当と認めたものを保護樹に指定してきた。

指定物件には昭和 52（1977）年と昭和 53（1978）年のべっぷの文化財に保護地区、保護樹等を特集し公表した。

その後、平成 6(1994) 年に発行された「別府の自然」に「別府市の巨樹と優れた木立」が掲載され、平成 21(2009) 年と平成 25(2013) 年にも「別府の文化財と保護樹」が記載されている。

現存する巨樹、名木の類は人間もしくは人間が形成してきた地域社会との関わり合いの中で残ってきたものが多く、それらを後世に引き継いでいくためには人間社会と個々の木立、名木の関係を考慮して保全していくことが重要となってくる。最近の調査で未指定のものが多々あることが判明したので、これらを含めて別府の地に育まれてきた証として記録に残し、今後、随時指定されて保護されふるさとの自然環境維持や天然記念物指定の一助になることを願うものである。

この報告にあたり、調査に協力いただいた巨樹の所有者や管理者、並びに現地調査を含め協力いただいた後藤徹夫別府市環境保全専門調査委員に深く感謝します。

市街地にあって落ち着いた環境を醸し出す
西野口児童図書館の木立

調査と整理

調査は市内の歴史ある神社、仏閣、学校や公園などを巡って、巨樹や名木に相当する樹木それぞれについて幹周、樹高等を実測定した。基準に達しながら所有者の意向で測定できなかったものや過去に記録されたが枯死や伐採等により所在が確認できなかったものもある。

調査対象

１．環境省が規定した胸高（地上約 1.3m）で幹周３ｍを超える巨樹を対象とした。
２．幹周３ｍ以下であっても県や市の天然記念物や保護樹に指定された樹木、歴史的な意義を持つ　樹木を名木として対象とした。
※基準に達しながら所有者の意向で測定できなかったものや過去に記録されたが枯死や伐採等により所在が確認できなかったものが数件ある。

測定と記録

○植物は年々成長するので上記 1.2. の内、測定期日の古いものは再測定を行いできるだけ新しいデータに更新し、測定期日を明記した。
○植栽樹（記念樹）と自生樹の判別は難しいので対象の 1.2. に該当するものはすべてとりあげた。

調査項目（一覧表に記す）

１．名称・・・・・個体の識別のための称号で確定したものではない
２．所在地・・・・市内で使われている町名
３．サイズ・・・・個体ごとに幹周、樹高、枝張り（東西南北）
※幹周は地表近くで癒着して分幹している場合は株元の測定値を記録する。
※樹高は測定する樹木の傍に人にたってもらい、その人の身長を基準に樹高を測定する。
※枝張りは東西南北の伸長状況を測定し自然状態が維持された状態であるかの判断材料にしたが、状況により測定できないものもあった。
４．その他・・・・測定年月日、形状、指定情報　を記載した
※測定値はできるだけ新しい期日のものを採用した

調査した巨樹（264）と柳のクヌギなど名木（5）計 269 個体を表 1 . に示す。

別府の巨樹の特色

１．常緑樹と落葉樹

一般的には常緑樹は温暖な地域に生育し、落葉樹は常緑樹より寒冷地に生育している。今回の巨樹踏査では偶然にも常緑樹と落葉樹ともに 21 種であった。これは土地の標高差が多少関係しているかもしれない。

別府市は海抜０ｍから由布岳山頂 1583.5m までの間にあり、海岸近くの温暖な低地では常

表１　別府市の巨樹と名木　一覧表

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周	樹高	枝張り(m)						
			(cm)	(m)	東	西	南	北			
イチョウ（イチョウ科）											
1	内成のイチョウ	内成	975	28	12	11.5	6.7	8.8	2022.11.8	上部の枝一部切除	県特別保護樹(1974.3.15)
2	御嶽権現社のイチョウ	東山	570	35	11	12.6	12	18	2022.10.25	参道階段上部東側にあり雌株	
3	平田天満社のイチョウ	平田	501	25	10	11	8	8.7	2024.10.11	御神木の巨樹である	市保護樹(1977.11.1)
4	八坂神社のイチョウ	朝見	452	28	―	―	―	―	2024.11.20	社殿に向かって左側	
5	亀川西光寺イチョウ	亀川	420	15	5	3	5	6	1994	雄株で上部の枝一部切除	
6	旧浜脇中前のイチョウ	浜脇	411	16	―	―	―	―	2024.3.13	旧中学正門の東側に生育し、樹勢良好	
7	八坂神社のイチョウ	朝見	385	25	―	―	―	―	2024.11.20	社殿に向かって右側	
8	実相禅寺参道のイチョウ	火売	361	10	4	4	3	5	2022.9.12	「枝の一部切除	
9	東山２区バス停のイチョウ	東山	350	20	―	―	―	―	2021.11.2	雌株で樹勢良好、近くに他に3本生育	
10	朝見神社社務所東のイチョウ	朝見	343	30	―	―	―	―	2022.5.24		
11	安楽寺裏のイチョウ	東山	314	20	―	―	―	―	2019.6.11		
12	浜脇中体育館横のイチョウ	浜脇	307	10	―	―	―	―	2024.3.13		
13	浜脇中南側のイチョウ	浜脇	301	8	―	―	―	―	2024.3.13		
カヤ（イチイ科）											
14	海雲寺のカヤ	南立石	382	15	8.3	7.8	6.9	9.5	2020.7.21	枝一部切除	市保護樹（1978.11.29）
アカマツ　（マツ科）											
15	別府公園のアカマツ	上野口	354	20	―	―	―	―	2017.3.8	別府公園内の西側に生育するアカマツの内300cmを超える個体は4本である。　250cm前後が多い。野口墓地駐車場のアカマツも同時期のもので、別府公園と連続していたものだろう	
16	別府公園のアカマツ	上野口	347	20	―	―	―	―	2017.3.8		
17	上野口のアカマツ	上野口	332	25	14	9.1	13	11	2024.11.20		
18	野口墓地のアカマツ２	上野口	322	15	73	6.9	6.4	8.1	2024.11.20		
19	野口墓地のアカマツ１	上野口	319	22	8.3	10.5	7.6	5.7	2024.11.20		
20	野口墓地のアカマツ３	上野口	310	20	10	12.5	11	6.9	2024.11.20		
21	別府公園のアカマツ	上野口	313	20	―	―	―	―	2017.3.8		
22	別府公園のアカマツ	上野口	309	20	―	―	―	―	2017.3.8		
クロマツ（マツ科）											
23	海門寺のしぐれ松	北浜	304	7	11	3.4	14	6.3	2024.8.1	高さ７mで枝を広げる。	市天然記念物(1982.8.11)
ヒマラヤスギ（マツ科）											
24	中部中学校のヒマラヤスギ	東荘園	341	8	8	5.3	8.4	6.3	2022.11.26	グランド西側上に生育	
25	鶴見丘高校のヒマラヤスギ	東荘園	339	22	―	―	―	―	2024.8.1		
26	青山中学校のヒマラヤスギ	南荘園	313	20	7.5	7.1	9.4	8.1	2023.11.26	校門北東隅に生育	
スギ（スギ科）											
27	天間２組久保家のスギ①	天間	575	28	7.7	11	5.9	7.7	2017.7.3	久保邸宅入口右側のスギ巨樹①	
28	朝見神社の門スギ北	朝見	531	20	―	―	―	―	2022.5.24	参道の両脇に生育、樹形整う	
29	朝見神社の門スギ南	朝見	459	20	―	―	―	―	2022.5.24	参道の両脇に生育、樹形整う	
30	天間２組久保家のスギ②	天間	453	26	―	―	―	―	2017.7.3	久保邸宅入口左側のスギ巨樹②	
31	御嶽権現社のスギ（北）	東山	449	40	9.8	7.8	7.7	8.9	2020.11.4	参道階段入口に２本	
32	御嶽権現社のスギ（南）	東山	421	40	―	―	―	―	2020.11.4	参道階段入口に２本	
33	湯山天満社のスギ	湯山	349	25	6.7	6.1	6.3	7.4	201４.８.27	樹勢良好	
34	羽室御霊社のスギ	羽室	340	27	5.2	5.6	7.9	5.9	2023.11.21	社殿の背後に生育し、樹勢良好	
35	ねじ山のスギ	ねじ山	329	23	6	6.2	5.1	4	2022.11.22	民有地内に生育し、樹勢良好	
アケボノスギ（ヒノキ科）											
36	大神峯神社のメタセコイア	内成	383	―	―	―	―	―	2022.3.2	社殿の西側に生育	
37	中部中学校のメタセコイア	東荘園	324	20	―	―	―	―	2022.11.6	グランドに生育	
38	中部中学校のメタセコイア	東荘園	315	20	6	3	5	5	2022.12.6	グランド東北隅に生育	
ヒノキ（ヒノキ科）											
39	チェッカマウガツリー	上野口	220	15	―	―	―	―	2019.9.23		米軍駐留記念樹
ヤマモモ（ヤマモモ科）											
40	鶴見園町のヤマモモ	鶴見園町	309	11	3.1	7.3	6.8	5.3	2012.3.26	鶴見園跡地、西部公民館裏に生育	
シナサワグルミ（クルミ科）											
41	的が浜公園のシナサワグルミ	的が浜	327	12	7.8	4.6	8	4.2	2024.8.1	他に２本あるが3mに満たない	
アカガシ(ブナ科)											
42	御嶽権現社のアカガシー８	東山	598	20	8	12	7.6	8	2024.10.16	幹の中央に空洞有り	県天然(1975.3.28)

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周 (cm)	樹高 (m)	枝張り(m)						
					東	西	南	北			
43	御嶽権現社のアカガシー７	東山	515	18	5.2	8.1	6.2	7.3	2024.10.16	地上6mまで空洞有り	県天然(1975.3.28)
44	御嶽権現社のアカガシー9	東山	501	18	8.3	11	12	4.2	2024.10.16	地上6mまで空洞有り	県天然(1975.3.28)
45	御嶽権現社のアカガシー１	東山	447	15	―	―	―	―	2024.10.16	樹林の最下部谷にある	県天然(1975.3.28)
46	御嶽権現社のアカガシー2	東山	440	18	8.2	5.9	8.5	3	2024.10.16	幹は空洞化	県天然(1975.3.28)
47	御嶽権現社のアカガシー6	東山	396	22	20	8.2	8.5	14	2024.10.16	主幹は枯死	県天然(1975.3.28)
48	御嶽権現社のアカガシー10	東山	378	20	8.8	8.7	17	6.1	2024.10.16	登山道より上	県天然(1975.3.28)
49	御嶽権現社のアカガシー4	東山	372	20	10	10	11	4.4	2024.10.16	幹の下部に空洞	県天然(1975.3.28)
50	御嶽権現社のアカガシー3	東山	340	15	6	3	2	4	2024.10.16	地上5mで主幹は枯死	県天然(1975.3.28)
51	御嶽権現社のアカガシー６	東山	315	20	10	4.5	6.1	6.9	2024.10.16	主幹は枯れ側幹で生きる	県天然(1975.3.28)
ウラジロガシ（ブナ科）											
52	東山のウラジロガシ	後畑	335	20	6.7	8.7	8.9	11	2018.10.24	県道52（庄内線）近くに生育	
アラカシ（ブナ科）											
53	西野口図書館のアラカシ	西野口	336	18	9.8	7.1	8.5	4.5	2022.11.8	図書館敷地内庭に生育	
54	亀川浜田防潮林のアラカシ	浜田	329	8	―	―	―	―	2013.6.28	海岸防風林の一部で地上1mで5分枝	
55	朝見鳥潟邸のアラカシ	朝見	325	25	―	―	―	―	2022.5.24	旧鳥潟邸の屋敷林内	
56	内成太郎丸のアラカシ	内成	315	18	8.3	5.5	7.1	4.3	2010.11.１３	ムクノキの巨樹の東側に生育	
57	大観山東斜面のアラカシ	大観山	310	18	―	―	―	―	2022.4.1	他にタブノキ、ムクノキ、クヌギが生育	
58	赤松のアラカシ	赤松	305	12	―	―	―	―	2011.6.24	地上1mで５本（92.93.131.132.40)になる	
イチイガシ（ブナ科）											
59	大神峯神社のイチイガシ	内成	431	35	15	9.1	8.3	13	2020.12.4	境内林内に生育	市保護樹(1977.7.19)
60	八幡竈門神社のイチガシ	内竈	431	15	―	―	―	―	2022.9.12	境内に生育	市保護樹(1977.11.1)
61	八幡竈門神社のイチガシ	内竈	425	8	―	―	―	―	2022.9.12	境内に生育	市保護樹(1977.11.1)
62	大神峯神社のイチイガシ	内成	420	35	―	―	―	―	2020.12.4	境内林内に生育	市保護樹(1977.7.19)
63	八幡竈門神社のイチガシ	内竈	391	22	7.6	6.7	9.4	10	2022.9.12	境内に生育	市保護樹(1977.11.1)
64	大神峯神社裏のイチイガシ	内成	398	30	―	―	―	―	2022.3.2	社殿裏の林内に生育	市保護樹(1977.7.19)
65	八幡竈門神社のイチガシ	内竈	385	16	―	―	―	―	2022.9.12	境内に生育	市保護樹(1957.11.1)
66	鶴見権現社のイチイガシ	火売	373	30	10	13	12	12	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
67	八幡竈門神社のイチガシ	内竈	368	25	―	―	―	―	2022.9.12	境内に生育	市保護樹(1977.11.1)
68	大神峯神社のイチイガシ	内成	338	22	―	―	―	―	2020.12.4	境内林内に生育	市保護樹(1977.7.19)
コジイ（ブナ科）											
69	棚林安部邸裏のコジイ	東山	582	16	6	12	13	9	2024,11,13	崖上の地上1mで2分幹	市保護樹(1978.11.29)
70	山神社のコジイ	東山	494	16	9	7	9.5	7			
71	世界救世主教六山荘のコジイ	鶴見町	361		―	―	―	―	2021.10.27	コジイ林中の巨樹	
コナラ（ブナ科）											
72	鳥越のコナラ	鳥越	株元466	20	―	―	―	―	2011.11.15	尾根に生育、幹は４本(105,136,156,191)に分かれる	
73	城島川岸のコナラ	東山	320	16	―	―	―	―	2015.7.15		
74	角山のコナラ	鶴見園町	317	15	9	5.7	8.5	5.7			
75	日向岳のコナラ	東山	310	23	―	―	―	―	2021.9.7	小さな尾根の上のコナラ林内	
クヌギ（ブナ科）											
76	大観山のクヌギ	大観山	320	23	20	8	8	5	2024.5.22		
77	西野口図書館のクヌギ	西野口	309	20	20	8	8	5	2022.11.8		
78	柳のクヌギ	隠山	232	23	8.8	13	12	11			市保護樹(1978.11.29)
シラカシ（ブナ科）											
79	城島のシラカシ	城島	459	20	10	10.8	16	7.6	2020.1.7	枝の一部切除	市保護樹(1977.3.1)
80	後畑のシラカシ	東山	392	12	12	8.5	9	6			
81	山の口伊藤家の墓地	ねじ山	343	16	9	7	7	6			
82	天間４組	天間	301	15	5	4	5	3			
スダジイ（ブナ科）											
83	円生寺のスダジイ	石垣西	660	20	14	13	12	9.6	2022.6.1	樹勢良好	市保護樹(1977.3.1)
84	実相禅寺のスダジイ	火売	株元558	18	―	―	―	―	2022.9.12		
85	鶴見権現社のスダジイ	火売	531	30	16	8	12	7.6	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
86	小坂池のスダジイ	小坂	株元514	15	―	―	―	―	2015.1.14	主幹(356cm)が横に這う	
87	姫山メンヒルのスダジイ	野田	498	20	14	10.3	3.6	15	2023.12.6	樹勢良好	

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周 (cm)	樹高 (m)	枝張り(m)						
					東	西	南	北			
88	姫山メンヒルのスダジイ	野田	486	20	7.6	11.6	13	8.4	2023.12.6	樹勢良好	
89	棚林のスダジイ	東山	480	18	6	12	7	7	2024,11,13	道路上崖斜面	市保護樹(1978.11.29)
90	鶴見権現社のスダジイ	火売	465	18	10	12.7	12	12	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
91	北鉄輪のスダジイ	鉄輪	460	12	5.8	5.5	2	7		刈り込まれて生け垣となる	
92	実相寺山のスダジイ	実相寺	451	22	―	―	―	―	2009.10.17	地上1.2mで3分幹(282.144.168)	
93	大観山のスダジイ	大観山	450	20	10	15.3	7.2	13	2021.3.23	住宅地の斜面に株立ち。地上2mで7分幹	
94	ラクテンチのスダジイ	乙原	439	―	―	―	―	―	2019.1.25	地上２ｍ４分幹、枝を切除し樹形変形	
95	内竈天孫降臨地のスダジイ	内竈	415	18	―	―	―	―	2011.9.22	域内に4本のスダジイとモチノキが生育	
96	県花き指導センターのスダジイ	火売	412	22	―	―	―	―	2024.9.10	センター入口東で湯煙の出る谷、樹勢良好	
97	鶴見権現社のスダジイ	火売	403	28	11	7	9	6	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
98	県花き指導センターのスダジイ	火売	株元396	22	―	―	―	―	2024.9.10	センター入口東の谷、地上0.5mで2分幹(231.183)	
99	大神峯神社のスダジイ	内成	389	32	―	―	―	―	2010.12.4	社殿裏の巨樹	
100	実相禅寺のスダジイ	火売	383	25	―	―	―	―	2022.9.21		
101	内竈天孫降臨地のスダジイ	内竈	380	18	―	―	―	―	2011.9.22	神域として保護されてきた	
102	小倉明礬入り口のスダジイ３	小倉	379	22	16	8.1	6.2	11	2024.11.13	地上１ｍで2分幹(他は128)する	
103	県花き指導センターのスダジイ	火売	372	22	―	―	―	―	2024.9.10	センター作業場倉庫の隣の3本のスダジイ	
104	鶴見権現社のスダジイ	火売	362	18	15	9	11	12	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
105	内竈天孫降臨地のスダジイ	内竈	358	15	―	―	―	―	2011.9.22	神域として保護されてきた	
106	内竈天孫降臨地のスダジイ	内竈	356	18	―	―	―	―	2011.9.22	神域として保護されてきた	
108	スパランド北斜面のスダジイ	内竈	349	22	―	―	―	―	2012.10.26		
109	観音寺のスダジイ	四の湯	344	20	10	3.8	6.2	6.8	2022.6.1	境内林の一部	
110	小倉ローソン裏のスダジイ４	小倉	343	20	7.9	10.8	12	7.4	2024.11.13	かつてはスダジイ林だった	
111	実相禅寺のスダジイ	火売	342	23	―	―	―	―	2022.9.21		
112	小倉ローソン裏のスダジイ	小倉	341	18	4.9	9.5	9.3	8.4	2024.11.13	かつてはスダジイ林だった	
113	羽室御霊社のスダジイ１	野田	341	25	―	―	―	―	2023.11.21		市保護樹(1977.7.19)
114	金毘羅社のスダジイ	館海寺	337	22	―	―	―	―	2013.7.24	社叢内の巨樹	
115	観音寺のスダジイ	四の湯	340	28	―	―	―	―	2022.6.1	境内林の一部	
116	南立石公園のスダジイ	南立石	334	10	7	6.3	7.4	7.7	2020.12.6	公園内に生育する自然木	
117	鶴見権現社のスダジイ	火売	329	30	8.7	12.4	13	8	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
118	観音寺のスダジイ	平田	329	20	11	3.6	5.2	7.4	2022.6.1	境内林の一部	
119	観音寺のスダジイ	四の湯	328	28	―	―	―	―	2022.6.1	境内林の一部	
120	鶴見権現社のスダジイ	火売	325	18	―	―	―	―	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
121	実相寺山のスダジイ	実相寺	324	22	―	―	―	―	2009.10.17	地上２ｍで4分幹。樹勢良好	
122	内竈笹川のスダジイ	温水	321	22	―	―	―	―	2012.10.26	根回り349cm、地上1.6mで３分幹(180,110,105)	
123	小倉ローソン裏のスダジイ２	小倉	312	20	6.7	15.7	11	15	2024.11.13	かつてはスダジイ林だった	
124	羽室御霊社のスダジイ	野田	311	25	―	―	―	―	2023.11.21		市保護樹(1977.7.19)
125	鶴見権現社のスダジイ	火売	310	30	9	10	8	15	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
126	鶴見権現社のスダジイ	火売	309	25	5	9	8	5	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
127	姫山メンヒルのスダジイ	野田	309	18	9.5	8	13	6.9	2023.12.6	樹勢良好	
128	県花き指導センターのスダジイ	火売	308	12	―	―	―	―	2024.9.10	センター作業場倉庫の隣の3本のスダジイ	
ムクノキ（ニレ科）											
129	内成太郎丸のムクノキ	内成	559	35	6	18	6.3	11	2011.11.13	樹勢良好、集落上の畑地の端に生育	
130	古市三女神社のムクノキ	古市	530	20	14	7	8	7.4	2024.10.11	東側枝切だ、樹勢良好	市保護樹(1977.3.1)
131	城島公民館のムクノキ	城島	446	13	9.3	4.4	11	11	2019.6.11	地上1m付近まで幹に空洞あり	
132	平田天満社のムクノキ	照波園	415	20	11	8	9	7.5	2024.10.11	樹勢良好	
133	八坂神社のムクノキ	朝見	366	27	―	―	―	―	2024.11.20	樹勢良好	
エノキ（ニレ科）											
134	ルミエールの丘のエノキ	鶴見園町	株元506	12	―	―	―	―	2022.10.11		
135	小坂のエノキ	小坂	485	―	―	―	―	―	2027.1.14		
136	湯山のエノキ	湯山	458	20	11	11.8	11	13	2008.11.22	地上１ｍで３分幹(210,185,238)、樹勢良好	
137	ルミエールの丘のエノキ	鶴見園町	417	23.5	12	10	12	12	2022.10.11		
138	地獄地帯公園のエノキ		395	10	6	8.3	6	6.6	2009.9.26	地上設置部分は板根状になる	
139	水口山のエノキ	東山	375	27	―	―	―	―	2010.6.12		

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周 (cm)	樹高 (m)	枝張り(m)						
					東	西	南	北			
140	ルミエールの丘のエノキ	鶴見園町	318	25	ー	ー	ー	ー	2022.10.11		
141	野口天満社裏のエノキ	天満	312	12	ー	ー	ー	ー	2023.3.7		
142	旧浜脇中前のエノキ	山家	301	8	ー	ー	ー	ー	2024.3.13		
ケヤキ（ニレ科）											
143	内成石城寺のケヤキ	内成	425	30	15	13.7	12	9.3	2023.4.19	寺院裏に生育、樹勢良好	
144	水口山の北斜面のケヤキ１	東山	418	28	16	8.8	14	16	2022.6.7	樹勢良好	
145	水口川淵のケヤキ	東山	380	25	18	8.3	7.9	15	2020.9.8	樹勢良好	
146	東山合の原斎藤家のケヤキ	東山	364	20	8	11	11	11	2024,11,13	城島ゴルフ場南、均整とれ樹勢良好	
147	ねじ山のケヤキ	ねじ山	328	25	12	13.2	13	15	2022.11.22	樹勢良好	
148	東山棚林のケヤキ	東山	306	22	ー	ー	ー	ー	2021.11.2	県道庄内線沿い地上80cmで２分幹	
ハクモクレン（モクレン科）											
149	山の口のハクモクレン	山の口	245	8	5.8	6	8.1	6	2022.3.24	樹勢良好	市保護樹(1977.3.1)
カゴノキ（クスノキ科）											
150	東山椿のカゴノキ	東山	396	12	4	4	3	6		スギ植林地の中、急斜面	
クスノキ（クスノキ科）											
151	朝見神社のクスノキ	朝見	1100	25	22	20.5	27	19	2022.5.24	樹勢良好	県天然記念(1979.5.15)
152	本村天満社のクスノキ	南立石本町	1038	25	13	16	19	15	2020.7.21	株元が崩壊、樹勢良好	市保護樹(1977.3.1)
153	朝見神社のクスノキ	朝見	590	30	13	13.2	18	19	2022.5.24	スギ植林地の中	
154	B－コン駐車場入口のクスノキ	上野口	576	18	14	13.6	11	12	2022.12.6	樹勢良好	
155	石垣神社のクスノキ	石垣西	536	25	5.4	9.8	9.1	6.7	2022.11.8	樹勢良好	
156	朝見神社のクスノキ	朝見	529	25	ー	ー	ー	ー	2022.5.24	スギ植林地の中	
157	野口天満社のクスノキ	天満	525	20	13	8.5	8.8	13	2023.3.7	樹勢良好	
158	竜巻地獄裏のクスノキ	野田	510	22	8	9	16	10	2023.10.6	樹勢良好	
159	竜巻地獄裏のクスノキ	野田	496	25	ー	ー	ー	ー	2023.4.13	樹勢良好	
160	野口天満社のクスノキ	天満	495	20	0	12	17	9	2023.3.7	樹勢良好	
161	旧浜脇中グランド横のクスノキ	山家	487	22	12	8	6	5	2021.5.11	グランド下墓地の奥。上部の枝に刈込あり	
162	西法寺のクスノキ	中央	487	18	ー	ー	ー	ー	2024.12.7	枝は四方刈り込まれている	
163	旧浜脇中グランド横のクスノキ	山家	484	20	ー	ー	ー	ー	2024.3.13		
164	小坂道のクスノキ	小坂	485	18	ー	ー	ー	ー	2015.1.14		
165	愛宕神社のクスノキ	東山	480	16	13	8	10	8	1994		
166	天満社のクスノキ	天満	466	25	16	14.6	20	15	2023.3.7	樹勢良好	
167	朝見神社のクスノキ-3	朝見	462	30	ー	ー	ー	ー	2022.5.24	社殿裏の植林地の中、3,4,8は同時期の植林か？	
168	朝見神社のクスノキ-4	朝見	462	25	ー	ー	ー	ー	2022.5.24	社殿裏のスギ植林地の中	
169	朝見神社のクスノキ-8	朝見	462	25	ー	ー	ー	ー	2022.5.24	社殿裏のスギ植林地の中	
170	山の手小グランドのクスノキ	青山	450	16	2.9	7.8	3.3	11	2023.3.28	枝の一部は切除	
171	公会堂正面のクスノキ	上田の湯	450	12	12	7.8	6.7	6	2022.11.24	樹勢良好	市保護樹(1993.7.1)
172	ラクテンチ登り口のクスノキ	乙原	437	22	12	12.3	11	14	2019.1.25		
173	旧山の口分校跡のクスノキ	東山	433	15	11	9	11	13	2022.3.24	校門跡の西側に生育	
174	板山のクスノキ	四の湯	433	18	15	10.5	14	12	2022.3.24	桜並木の途中	
175	七ツ石稲荷神社のクスノキ	荘園	431	15	13	3.3	9.1	8.2	2023.3.7	樹勢良好	
176	小坂三妙のクスノキ	小坂	429	20	11	9.5	11	9.2	2014.1.22		
177	ラクテンチのクスノキ	乙原	425	25	ー	ー	ー	ー	2019.1.25		
178	ルミエールの丘のクスノキ	鶴見	株元424	22	7.4	7.1	9.1	7.2	2022.10.11	枝に刈込あり	
179	海門寺公園のクスノキ	北浜	417	12	7.9	4.6	9.6	10	2019.7.24	公園の周囲に5本植栽されたクスノキで最大	
180	旧浜脇中グランド横のクスノキ	山家	417	18	ー	ー	ー	ー	2024.3.13	グランド下墓地の内、下方は枝打ちあり	
181	八幡石垣神社のクスノキ	中須賀	413	25	ー	ー	ー	ー	2022.6.1	枝の刈込有	
182	公会堂横のクスノキ	上田の湯	405	15	15	9	8	8	2022.11.24		
183	ラクテンチのクスノキ	乙原	405	25	ー	ー	ー	ー	2019.1.25		
184	中部中学正門のクスノキ	東荘園	402	12	13	11.2	9.6	8.9	2022.11.6	樹勢良好	
185	実相禅寺のクスノキ	火売	400	20	9.6	7.7	7.9	9.4	2022.9.12	枝に刈込あり	
186	秋葉神社のクスノキ	秋葉	393	ー	10	5.5	7	2	2022.5.10	上部の枝に刈込あり	
187	野口天満社のクスノキ	天満	383	13	ー	ー	ー	ー	2023.3.7	樹勢良好	
188	県花き指導センターのクスノキ	火売	378	15	ー	ー	ー	ー	2024.9.10	センター事務所西の樹木園内に生育。樹勢良好	

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周 (cm)	樹高 (m)	枝張り(m)						
					東	西	南	北			
189	中須賀八幡神社のクスノキ	中須賀	375	25	―	―	―	―	2022.6.1	樹勢良好	
190	かんなわ別邸東空地のクスノキ	火売	374	20	―	―	―	―	2024.10.11	旅館かんなわ別邸東の空地に生育	
191	かんなわ別邸東空地のクスノキ	火売	368	20	9.8	11	5.6	11	2024.10.11	旅館かんなわ別邸東の空地に生育	
192	野田のクスノキ	野田	368	22	―	―	―	―	2024.5.22	大観山北斜面に生育	
193	野口天満公園のクスノキ	天満	363	20	11	12.1	16	17	2023.3.7	樹勢良好	
194	野口墓地駐車場のクスノキ	上野口	353	15	―	―	―	―	2024.9.12		
195	実相禅寺裏のクスノキ	火売	351	23	13	12	13	10	2009.12.23	寺の北側境内林内	
196	社会福祉会館のクスノキ	上田の湯	349	15	―	―	―	―	2024.3.7	駐車場北側	
197	本村天満宗像掃部墓横のクス	南立石	342	22	―	―	―	―	2020.7.21	御神木には劣るが巨樹である	
198	旧山の手幼稚園庭のクスノキ	上田の湯	342	18	15	8.8	14	13	2023.3.28		
199	竈門神社のクスノキ	内竈	340	18	―	―	―	―	2022.9.12		
200	実相寺山のクスノキ	実相寺	338	20	―	―	―	―	2009.10.17	ゴルフ練習場の南東側に生育	
201	鶴見園町のクスノキ	鶴見園町	335	20	9.7	10.8	11	11	2012.3.26	ホテル跡地に残る。樹勢良好	
202	県花き指導センターのクスノキ	火売	335	15	4.8	5.2	9	8.7	2024.9.10	センター入口通路横に生育。樹勢良好	
203	県花き指導センターのクス	火売	329	12	4.6	5.7	6.3	6.4	2024.9.10	センター作業場倉庫前に生育。樹勢良好	
204	竜巻地獄裏の森クスノキ	野田	328	23	―	―	―	―	2023.10.6		
205	野口墓地駐車場のクスノキ	上野口	329	13	10	7	7.7	12,5	2024.11.20		
206	中須賀八幡神社のクスノキ	中須賀	327	25	―	―	―	―	2022.6.1		
207	実相禅寺のクスノキ	火売	325	―	―	―	―	―	2022.9.12		
208	温水水源地北斜面のクスノキ	亀川	325	23	―	―	―	―	2013.11.24	325cmは根回りで地上5mで５分幹	
209	野口天満社のクスノキ	天満	319	23	14	7	6	12	2023.3.7		
210	美術館駐車場のクスノキ	上野口	319	18	8.8	12.1	7.1	7.4	2022.12.6		
211	ルミエールのクスノキ	鶴見	317	20	―	―	―	―	2022.10.11		
212	秋葉神社のクスノキ	秋葉	313	―	6.5	2.5	5.5	3	2022.5.10		
213	かんなわ別邸玄関のクスノキ	火売	305	18	―	―	―	―	2024.10.11	旅館玄関に2本ある。1本は278cm	
214	八幡石垣神社のクスノキ	中須賀	303	25	―	―	―	―	2022.6.11		
215	鶴見権現社のクスノキ	火売	302	30	10	12	12	14	2024.10.30	神社の境内林内に生育	県天然(1975.3.28)
216	山の手小グランドのクスノキ	青山	301	18	5.9	7.6	5.1	5.6	2023.3.28		
タブノキ（クスノキ科）											
217	小坂トンネル上のタブノキ	小坂	465	15	―	―	―	―	2010.5.22	465は根回り(195.169.184)の3本に分かれる	
218	観音寺のタブノキ	四の湯	430	18	4	3	1	5			
219	野田和光苑内のタブノキ	野田	402	18	7.8	11.3	8.9	8.8	2012.3.8	地上50cmで３分幹(209,203,146)	
220	小倉のタブノキ	小倉	365	16	4	4	2	5			
221	ルミエールのタブノキ	鶴見	株元362	22	―	―	―	―	2022.10.11		
222	鬼の岩屋古墳のタブノキ	上人	360	14	3	4	3	5		これは伐採跡あり。2024.10.11現在293cmが最大	
223	大観山斜面のタブノキ	大観山	356	13	7	9	9.5	11	2022.4.1	大観山坂道入口を南に入る	
224	ルミエールのタブノキ	鶴見	348	18	5	6	6	5	2022.10.11		
225	実相寺3組のタブノキ	実相寺	347	14	5	3	3	3	1994		
226	湯山天満社のタブノキ	湯山	320	22	8.9	10.8	9	9.5	2014.8.27	神社参道の東側に生育	
227	竹ノ内住宅横のタブノキ	竹ノ内	305	20	―	―	―	―	2013.12.4	横断道路の下、地上1.2mで2分幹(205.210)	
228	小坂三妙のタブノキ	小坂	305	―	―	―	―	―	2014.1.12		
229	別府リハ・センターのタブノキ	明礬	303	18	9.2	6.5	8.6	6.9	2009.6.27	地上1.2mで２分幹(202.205)	
230	内竈堂面棚田のタブノキ	内竈	303	15	―	―	―	―	2018.10.24		
ヤブニッケイ（クスノキ科）											
231	野田２組のヤブニッケイ	野田	315	14	4	4	2	4	1994		
ウワミズザクラ（バラ科）											
232	東山のウワミズザクラ	東山	377	13	8	6	6	2	1994		
233	東山２区のウワミズザクラ	東山	307	12	7	3	5	7	1994		
カスミザクラ（バラ科）											
234	小鹿のカスミザクラ	東山	258	8	―	―	―	―	2022.11.14	樹勢著しく衰える	市保護樹(2009.8.1)
ヤマザクラ（バラ科）											
235	猪の瀬戸北湿地のヤマザクラ	東山	437	16	14	12.1	12	12	2015.7.29	鶴見山麓のクヌギ林内.1mで３分幹（201.174.171）	
236	志高のヤマザクラ	東山	372	15	9.9	8.2	11	9.4	2022.4.1	志高湖畔	市保護樹(1993.7.1)

No.	名　　称	所在地	サイズ						測定年月	樹勢・形状・指定状況等	
			幹周 (cm)	樹高 (m)	枝張り(m)						
					東	西	南	北			
237	志高のヤマザクラ	東山	338	13	9.1	9.2	5.6	8.5	2022.4.1	志高湖畔	市保護樹(1993.7.1)
238	志高のヤマザクラ	東山	330	16	10	6.3	6	8.3	2022.4.1	志高湖畔	市保護樹(1993.7.1)
オオシマザクラ（バラ科）											
239	明礬グランド	明礬	306	15	11	9.7	8.5	9.1	2022.4.20	グランド南側の道路沿い	
エドヒガン （バラ科）											
240	山の口分校跡校庭北	東山	467	12	17	9.3	11	11	2022.3.4	分校跡の校庭、他に１本生育	
ソメイヨシノ（バラ科）											
241	実相寺山のソメイヨシノ１	実相寺	333	8	―	―	―	―	2023.7.14	仏舎利塔入口道添い	
242	実相寺山のソメイヨシノ３	実相寺	325	8	―	―	―	―	2023.7.14	仏舎利塔入口道添い	
243	東荘園高安邸のソメイヨシノ	東荘園	315	5	―	―	―	―	2022.11.6	庭園木として剪定している	
244	湯煙展望台通りのソメイヨシノ	大観山	313	8	7.9	5	5	11	2022.4.1	住宅地斜面,imで２分幹(205,180)	
245	猪の瀬戸入口のヤマザクラ	東山	310	7	9.1	11.8	8.1	6.3	2022.10.25		
246	亀川板山のソメイヨシノ	亀川中央	309	10	3.6	6.3	4.5	7.8	2022.3.24		
247	実相寺山のソメイヨシノ２	実相寺	300	8	―	―	―	―	2023.7.14	仏舎利塔入口道添い	
シダレザクラ（バラ科）											
248	シダレザクラ	城島	株元428	8	9	10.7	14	6	2022.4.1	(252と212）が合着	県特別保護樹(1974.3.15)
バクチノキ（バラ科）											
249	朝見のバクチノキ	朝見	368	17	9	2	8	5	2022.5.24		市保護樹(1977.3.1)
250	朝見のバクチノキ	朝見	315	30	―	―	―	―	2022.5.24		市保護樹(1977.3.1)
251	朝見のバクチノキ	朝見	301	30	―	―	―	―	2022.5.24		市保護樹(1977.3.1)
ハマセンダン（ミカン科）											
252	県花き指導センターのハマセンダン	火売	341	22	―	―	―	―	2024.9.10	センター入口東で湯煙の出る谷、樹勢良好	
センダン（センダン科）											
253	上人小のセンダン	上人西	312	15	8.3	4.5	5.9	8.8	2024.10.11	幼稚園舎の東側に生育	
アオハダ（モチノキ科）											
254	東山尾野家のアオハダ	東山	417	12	4	5	6	3			
モチノキ（モチノキ科）											
255	鳥潟家のモチノキ	朝見	302	17	7	1	5	3	2022.5.24	旧鳥潟邸の屋敷林内に生育	
イタヤカエデ（カエデ科）											
256	水口山のイタヤカエデ	東山	413	30	19	11.8	14	14	2023.6.7	猪の瀬戸湿原の奥にあって樹勢良好	
257	水口山のイタヤカエデ	東山	363	25	18	8	7.9	15	2023.6.7	猪の瀬戸湿原の奥にあって樹勢良好	
258	水口山のイタヤカエデ	東山	353	30	8.9	11	11	21	2020.9.8	猪の瀬戸湿原の奥にあって樹勢良好	
259	水口山のイタヤカエデ	東山	315	22	13	7.4	11	10	2023.6.7	猪の瀬戸湿原の奥にあって樹勢良好	
ホルトノキ（ホルトノキ科）											
260	南立石のホルトノキ	南立石	369	14	―	―	―	―			
261	柴石のホルトノキ	柴石	360	18	14	7	10	8.5		1.5mで3分枝、テイカカズラ、キズタ着生	
262	上人ケ浜公園	上人ケ浜	364	10	―	―	―	―	2022.12.1	株元から２本に分幹	
263	小坂４組	小坂	332	15	5	5	6	7			
264	中須賀のホルトノキ南	中須賀	329	20	13	7.9	16	7	2024.12.7	2本あって共に　　市保護樹(1981.6.25)	
265	中須賀のホルトノキ北	中須賀	328	18	10	4	12	8	2024.12.7	2本あって共に　　市保護樹(1981.6.25)	
266	上人小のホルトノキ	上人西	322	20	8.2	3.2	8.2	6.3	2024.10.11	2mで２分幹（232,168)、タブノキ林は市保護樹	
ウスギモクセイ（モクセイ科）											
267	富士屋旅館ウスギモクセイ	鉄輪	193	7	2.5	3.9	3.3	4.5	2008	株元空洞化	県特別保護（1974.3.15）
キ リ （ゴマノハグサ科）											
268	朝見3丁目のキリ	朝見	343	26	6	5.6	7.6	11	2022.5.10	樹勢良好、畑後の植林地	
269	大観山入口のキリ	上平田	315	22	8.6	5.4	6.7	5.6	2021.4.27	樹勢良好、道路上の傾斜地	
270	関の江新町のキリ	関の江	335	18	7	8.5	9.5	6	2021.4.27	樹勢良好、住宅地の斜面	

（※No.107は欠番）

緑樹のシイ・カシ類やクスノキ科の生育が旺盛となるが、気温が低下する標高 700m 付近から次第にナラやシデ、カエデ類の落葉樹の生育に適した地域となっていく。

常緑樹、落葉樹のいずれもが同じように生育できる環境は豊かな自然であることの一つの証ととらえることができる。

２．最も多い樹種

巨樹として出現した種の数は 42 種で個体数は東アジアに分布域をもつクスノキが 65 個体日本列島、済州島に分布するスダジイが 45 個体と群を抜いている。どちらも暖かい地域に生育する常緑樹で、ふるさと別府の地が温暖な気候であることの証でもある。

別府市では昭和 57(1982) 年に公共緑化木としてクスノキを、庭園緑化木としてキンモクセイを市木としたこともあり、樹形が雄大で風格もあるクスノキは市内のあちらこちらで保護され巨樹に成長している。国内ではクスノキは日本列島南部で巨樹として生育しており鹿児島県姶良市の「蒲生のクスノキ」は日本一の巨樹として知られている。別府市では朝見神社のクスノキが幹周 11 ｍであるが、県内では大分市の柞原神社のクスノキが幹周 18.5 ｍ、樹高 30 ｍあり大正 11(1922) 年３月８日に国の天然記念物に指定されている。

３．別府の巨樹 10 撰

別府市を代表する巨樹 10 を撰ぶと表２．のようになる。10 年前の記録と比べると樹種に大きな変化はなく、朝見神社のクスノキと本村のクスノキが上位を保つ。内成のイチョウは上部の枝切りの影響かもしれない。円正寺のスダジイや御嶽権現のイチョウ、久保家のスギは生育地の土壌・土地条件がよく所有者の十分な管理がなされて順調な生育がみられる。御嶽権現のアカガシは樹林としても優れているが、最近林床のシカ食害がひどく、衰えが著しい。樹幹の空洞化や強風による枝の折損、倒木が目立つ。県の天然記念物でもあり補植等による次代の森の継承保全対策が必要である。

表２　別府の巨樹１０撰

2024年　今回の調査		幹周(cm)	1994年　別府の自然　調査		幹周(cm)
1	朝見神社のクスノキ	1100	1	朝見神社のクスノキ	1100
2	本村天満社のクスノキ	1038	2	内成のイチョウ	960
3	内成のイチョウ	975	3	本村天満社のクスノキ	800
4	円正寺のスダジイ	660	4	秋葉神社のクスノキ(現存しない)	645
5	御嶽権現のアカガシ	598	5	御嶽権現のアカガシ	567
6	朝見のクスノキ	590	6	御嶽権現のイチョウ	557
7	棚林のコジイ	582	7	内成太郎丸のムクノキ	550
8	B-コン駐車場のクスノキ	576	8	鶴見安部家のスダジイ(現存しない)	542
9	天間久保家のスギ	575	9	朝見神社の門杉	536
10	御嶽権現のイチョウ	570	10	御嶽権現のアカガシ	510

代表的な巨樹

（１）朝見神社のクスノキ　　№151.

所在地　　朝見２丁目
大きさ　　幹周　1100cm　高さ　25m
指定状況　クスノキ並びに周辺の樹林を含む地域を
　　県指定　天然記念物　　昭和 44(1969) 年
　　県指定　特別保護樹林　　昭和 49(1974) 年
　　市指定　生物環境保護地区　昭和 52(1977) 年
これまでの経緯と現況

別府市の巨樹として幹周は最も大きく、クスノキとしては県内３位にランクされる。生育地はコジイやアラカシの茂る樹林の一角で、亜高木層にはヤブツバキやクロキ、低木層にはヒサカキ、アリドウシ草本層にはハナミョウガ、ムサシアブミが生育し各階層とも安定状態にある。神社の管理が行き届き立ち入りやごみの投棄などもなく良好に保全され、御神木として本殿のそばに泰然と聳えたっている。

朝見神社のクスノキ

（２）本村天満社のクスノキ　　№152

所在地　　南立石本町
大きさ　　幹周　1038cm　　樹高　25m　　枝張り〈東 13　西 16　南 19　北 15〉m
指定状況　市指定　保護樹　昭和 52（1977）年　３月１日
これまでの経緯と現況

南立石本町天満社境内のクスノキで、本村天満社は 1600 年（慶長５）関ヶ原の合戦と同時期に行われた石垣原合戦時の大友義統方の本陣跡とされている。このクスノキの生育地は境内の奥地にあり人目に付きにくいが市内でも２番目の幹周を有し、樹冠も東西南北それぞれ 10m を超す広がりがある。樹幹の一部が空洞化しているが、昭和 51 年度の調査では幹周 800cm、樹高 18 mとあり年々成長している。

生育地の西側は急傾斜地で崩壊の恐れがあり保全対策が望まれる。

また、これとは別に境内には宗像掃部の墓の傍に幹周 342cm、樹高 22 mのクスノキがある。

（３）内成のイチョウ　　№１

所在地　　内成勢場
大きさ　　幹周 975cm　　樹高 28m　　枝張り〈東 12　西 12　南 6.7　北 8.8〉m
指定状況　県指定　特別保護樹木　昭和 49（1974）年３月 15 日　指定
　　市指定　保護樹　　昭和 52 (1977) 年　３月１日　指定
これまでの経緯と現況

雌木のイチョウで株元には薬師如来を祭っていて、乳の出の少ない婦人が樹皮を煎じて服用したと伝えられている。

古い時代から大イチョウとして知られ、昭和５年には県教育委員会が「名木公孫樹」、昭和６年には「老樹名木調査」として調査し記録している。

近隣住民の生活道路沿いにたっていて、危険防止のために時折上部の枝を切除しているという。

地域で崇められたイチョウ

（４）円正寺のスダジイ　№83

所在地　　石垣西

大きさ　　幹周　660cm　　樹高　20m　　枝張り〈東 14　西 13　南 12　北 9.6〉m

指定状況　　市指定　保護樹　　昭和 52(1977) 年　３月１日　指定

これまでの経緯と現況

スダジイは温暖な海岸部に自生する常緑広葉樹でしばしば樹林を形成してその優占種となるスダジイは本堂の西に単木として生育し、その整った佇まいは古刹の趣を引き立てている。

かつて市街地に残っていたスダジイは開発の波にのまれて伐採され現存するものは極めて少ない。円正寺のスダジイはシイの木では他に類を見ない巨樹といえる。

凛としてたつスダジイ

（５）御嶽権現社のアカガシ　　№42.43.44.45,46,47,48,49,50.51.

所在地　　東山

大きさ　　巨樹は 10 本あり最大のアカガシは№42

幹周　598cm　樹高　20m

枝張り〈東８　西 12　南 7.6　北 8〉m

指定状況　　「御嶽権現社の自然林」として

県指定　天然記念物

昭和 50 年 (1975) 年

市指定　生物環境保護地区

昭和 52(1977) 年

これまでの経緯と現況

アカガシはやや標高の高い丘陵帯に樹林をつくる常緑広葉樹で、別府市内では市街地の背後で見かける。中でも標

生きのびたアカガシの老木

高 600m の鶴見岳中腹御嶽権現社にはアカガシの自然林があり県の天然記念物に指定されている。

林内には巨樹 10 本が確認されているが、最近シカの食害が進み低木層、草本層の植物は欠損状態になり、巨樹のアカガシにも空洞化や倒木がみら樹林として劣化が顕著である。県天然記念物、市保護地区の指定を受けており早急な保全対策が必要である。

（6）天間久保家のスギ　　№.27.30

所在地　　天間（久保家所有）

大きさ　　幹周　№.27　575cm　　樹高　28m　枝張り〈東 7.7　西 11　南 5.9　北 7.7〉m

　　№.30　453cn　　26m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

久保家の屋敷入口に生育する 2 本のスギで、入口に向かって右の№.27 がやや大きいがいずれも十分な管理がなされ、樹勢も旺盛である。別府市内のスギはすべて植栽されたものであるが、その中で最大のものである。

巨樹がつくる優れた緑地や木立

市内で長い年月時を刻みながらその地域の歴史をはぐくんできた巨樹はシンボルとなって緑地をつくり、住民の憩いの場を提供してきた。それらを 1. 海門寺のしぐれ松のようにシンボルとして育まれた巨樹、2. 西野口児童図書館の木立のように緑地を提供した巨樹、3. 鶴見権現社の巨樹のように森の中で生きながらえた巨樹、4. 学校のグランド周辺や街路樹として外国から持ち込まれた巨樹に分けて解説する。（名称のあとの№.は一覧表の№.である）

1．シンボルとして生きる巨樹・名木

（1）　板山のソメイヨシノ　№.246

所在地　　亀川中央町

大きさ　幹周　309cm　高さ 10m　枝張り〈東 3.6　西 6.3　南 4.5　北 7.8〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

亀川中央町から北部中学校に至る坂の片側に植栽された１０数本のソメイヨシノで坂道は中学校の通学路になっている。桜の開花期には地元住民が赤ちょうちんなどを下げ、春の景観は風情がある。幹周 300cm を超えるのは 1 本であるが、5、6 本はほぼ同等である。植栽の時期は不明。一時期市保護樹の指定を受けていたが樹木の老化が著しく解除され、現在は無指定となっている。

春の風物詩・板山のソメイヨシノ

（２）海門寺のクロマツ（しぐれ松）　No. 23

所在地　北浜２丁目

大きさ　幹周　304cm　樹高　7m　　枝張り〈東 11　西 3.4　南 14　北 6.3〉m

指定状況　　市指定天然記念物　　昭和 57(1982) 年８月 11 日指定

　　市指定　保護樹　　昭和 52(1977) 年３月１日指定

これまでの経緯と現況

樹高 7m で主幹が南東の方向に大きく湾曲して曲がり、小枝も広がって整えられ風格がある。別名「しぐれ松」の名があるがいわれははっきりしない。2012 年の測定では幹周 290cm であり、年々成長し巨樹の仲間入りをした。クロマツは一般的には砂地に生育しており、かつてはこの付近まで砂浜だったのかもしれない。

隣接地の海門寺公園にはクロマツの他、巨樹となったクスノキもあり、緑陰をつくって地域住民の憩いの場となっている。

成長を続けるクロマツ（しぐれ松）

（３）石垣神社のクスノキ　No. 155

所在地　　石垣西

大きさ　　幹周　536cm　樹高　25m

枝張り　　〈東 5.4　西 9.8　南 9.1　北 6.7〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

石垣地区の住宅街にある石垣神社社殿の北側にたつクスノキで御神木となっている。

下方の枝は切除されているが、林冠部は高くそびえ離れたところからもよく見える。

樹勢は旺盛であり、できるだけ自然の姿で市木として成長することが望まれる。

石垣神社のクスノキ

（４）別府市公会堂のクスノキ　No. 171

所在地　　上田の湯

大きさ　　幹周 450cm　樹高　12m　　枝張り〈東 12　西 7.8　南 6.7　北 6〉m

指定状況　市指定　保護樹　平成 5(1993) 年７月１日　指定

これまでの経緯と現況

正面玄関駐車場の中央に立つクスノキで、昭和３年公会堂の竣工記念に植栽された記念樹である。かつて公会堂の西側には市立図書館、美術館などの文化施設があり、このクスノキ他数本のクスノキやホルトノキがあったが、施設の改修に伴って駐車場が拡幅されこのクスノキを残して何本か伐採された。

（５）七ツ石稲荷神社のクスノキ　　No. 175

所在地　　荘園

大きさ　　幹周　431cm　樹高 15m

枝張り　　〈東 13　西 3.3　南 9.1　北 8.2〉m

指定状況　無

これまでの経緯と現況

七ツ石稲荷神社は境川左岸の石垣原古戦場跡にあり、クスノキはその一角に根を下ろし幹周 431cm の巨樹である。幹は直立で枝を四方に広げ風格がある。

地域住民は傍にある共同温泉とともに、このクスノキを崇め守り続けている。

七ツ石稲荷神社のクスノキ

（６）安楽寺のシダレザクラ　（名木）　No. 248

所在地　　城島

大きさ　　株元　428cm　　樹高　8m　　枝張り〈東 9　西 11　南 14　北 6〉m

指定状況　　県指定　特別保護樹木　昭和 49(1974) 年 3 月 15 日　指定

これまでの経緯と現況

安楽寺の境内に植えられたシダレザクラで南西方向に枝を広げ、支柱で支えられている。安楽寺はシダレザクラの名刹として知られ、大正 10 年当時は樹齢 150 年に達するシダレザクラが枯死し、その株元から成長した 3 本の内 2 本（252cm と 212cm）が 428cm となって、株元で合着している。

３月末の開花期には多くの人が、天空に咲く櫻花の見物に訪れる。

咲き誇る安楽寺のシダレザクラ

２．神社や広場の緑地をつくる巨樹

（１）　古市三女神社のムクノキ　　No. 130

所在地　　古市

大きさ　　幹周 530cm　樹高 20m

枝張り　　〈東 14　西 7　南 8　北 7.4〉m

指定状況　　市指定　保護樹

昭和 52(1977) 年 3 月 1 日　指定

これまでの経緯

JR 日豊線古市トンネルが抜ける丘の肩にある三女神社のムクノキで、主幹はやや東に傾くが急斜面の狭い境内に御神木として聳えている。

ムクノキはエノキなどと共に市街地の公園や空地に生育

急斜面にたつムクノキ

する落葉樹で成長が早く時折高木に成長するが、雑木として切り払われることが多い。

（2） 八幡竈門神社のイチイガシ　　No. 60.61.63.65.67.

所在地　　内竈 000

大きさ　No. 60.　幹周 431cm　樹高 15m
　　No. 61.　幹周 425cm　樹高 8m
　　No. 63.　幹周 391cm　樹高 22m
　　枝張り〈東 7.6　西 6.7　南 9.4　北 10〉m
　　No. 65.　幹周 385cm　樹高 16m
　　No. 67　幹周 368cm　樹高 25m

指定状況　　市指定　保護樹
　　昭和 52(1977) 年 11 月 1 日　指定

八幡竈門神社のイチイガシ

これまでの経緯と現況

竈門神社社殿の正面から南側の境内に残る 5 本のイチイガシの巨樹である。イチイガシは肥沃な土壌に生育する常緑広葉樹で、生育地は早くから農耕地として利用されイチイガシが現存する土地の大部分は神域であることが多い。

本殿前のイチイガシは御神木で風格があるが、主幹が空洞化しており倒れないような対策が必要である。

（3） 羽室御霊社の巨樹　　No. 34 .113.124.

所在地　野田

大きさ　スギ　No. 34　　幹周　340cm　樹高　27m
　　スダジイNo. 113　幹周　341cm　樹高　25m
　　スダジイNo. 124　幹周　311cm　樹高　25m

指定状況　「羽室御霊社のスダジイ林」として
　　市指定　　保護樹　　昭和 52(1977) 年 7 月 19 日　　指定

これまでの経緯と現況

昭和 52 年の指定当時は高木層から草本層までの階層構造も明瞭で、自然林としての要素を備えていたが、近年モウソウチクの侵入が著しく樹林の一部が駐車場となって自然林の特性が薄れている。巨樹としてはスダジイが該当するほか、入口に植栽されてスギも保護され成長している。

（4） 大分県温泉熱花き研究指導センター内と周辺の木立 No. 202.203.188.103.252

所在地　　火売

大きさ		幹周	樹高	枝張り
クスノキ	No. 202	335cm	15m	〈東 4.8　西 5.2　南 9　北 8.7〉m
クスノキ	No. 203	329cm	12m	〈東 4.6　西 5.7　南 6.3　北 6.4〉m
クスノキ	No. 188	378cm	15m	

スダジイ　　№103　372cm　　22m
ハマセンダン№252　341cm　　22m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

当センターは昭和 27(1952) 年に県温泉熱利用農業研究所として発足した研究施設で敷地内には自噴する地熱もあり、多くの植物が研究対象として自生し、栽培されている。巨樹に相当する樹木は入り口付近に自生するスダジイ、クスノキ、ハマセンダンなど 3 種、4 本と栽培実験倉庫付近のスダジイとクスノキで他に 250cm を超えるメタセコイア、タブノキ、エノキ、イチイガシなどが見られる。

また、実験育種場東側の旅館とその周辺には、かつては連続していたと思われるクスノキの巨樹が林立している。

（5）野口天満社・児童公園の巨樹　　№157.160,209.187,141.193.

所在地　天満町

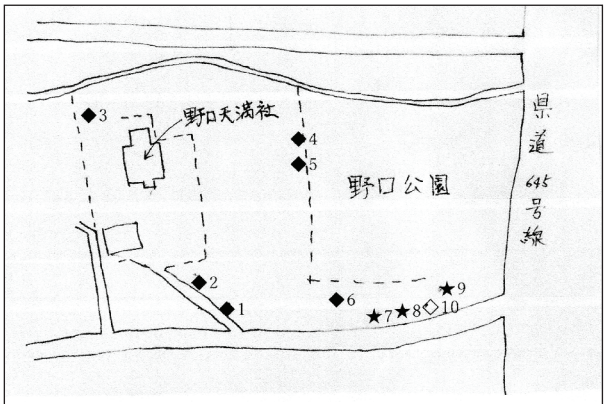
大きさ

天満社		幹周	樹高	枝張り
クスノキ	№157	525cm	20m	〈東 13 西 8.5 南 8.8 北 13〉m
クスノキ	№160	495cm	20m	〈東 0 西 12 南 17 北 9〉m
クスノキ	№209	319cm	23m	〈東 14 西 7 南 6 北 12〉m
クスノキ	№187	383cm	18m	
エノキ	№141	312cm	12m	
児童公園		幹周	樹高	枝張り
クスノキ	№193	363cm	20m	〈東 11　西 12　南 16　北 17〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

昭和 50 年度（1975 年）の別府市保護地区等調査報告書によると目立った樹木はクスノキのほか数本のアラカシやエノキ、タブノキ、サイカチなどで、10 数本のアカマツが生育していたとある。その後“別府の自然”(2003 年) には幹周 466cm のクスノキが記録されている。それ以後境内の東側が公園化されて現在に至っているが、樹木は順調に生育し巨樹 6 本以外にも 250cm を超えるアカマツやアラカシ、カゴノキなどが樹陰をつくって憩いの場となっている。



1．クスノキ　　6．クスノキ
2．クスノキ　　7．アカマツ
3．クスノキ　　8．アカマツ
4．クスノキ　　9．アカマツ
5．クスノキ　　10．エノキ

野口天満社・児童公園の木立の位置

（６）野口市営墓地駐車場周辺の巨樹　　No. 18,19,20,194,205

所在地　上野口町

大きさ

アカマツ　No. 18　幹周 322cm　樹高 15m　枝張り〈東 7.3　西 6.9　南 6.4　北 8.1〉m

アカマツ　No. 19　幹周 319m　樹高 22m　枝張り〈東 8.3　西 11　南 7.6　北 5.7〉m

アカマツ　No. 20　幹周 310m　樹高 20m　枝張り〈東 10　西 13　南 11　北 6.9〉m

クスノキ　No. 194　幹周 353cm　樹高 15m

クスノキ　No. 205　幹周 329cm　樹高 13m　枝張り〈東 10　西 7　南 7.7　北 12.5〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

境川右岸にあり、幹周や樹高が別府公園等のアカマツと近い値で、かつて一帯は連続するアカマツの木立が広がっていた可能性が強い。

一帯に現存するアカマツは林床植物を伴わず、木立の状態で生育しているが、虫害や強風で倒れたり減少傾向にあり、別府公園の菰巻き作業時に美術館、新設の図書館等を含めて一帯の保全作業を実施するとよい。

（７）西野口児童図書館の木立　　No. 57,77

所在地　　西野口

大きさ

アラカシNo. 53　幹周　336㎝　樹高 18 m　枝張り〈東 9.8　西 7.1　南 8.5　北 4.5〉m

クヌギ No. 77　幹周　309cm　樹高 20 m　枝張り〈東 20　西 8　南 8　北 5〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

別府公園東駐車場東側の住宅街の中にひっそりとした森があって、通称「おじいさんのもり」と呼ばれている私設の児童図書館がある。

図書室の周辺には大小のアラカシ、クヌギ、クスノキのほか、ヒメユズリハ、アオキ、イヌビワなどが程よく混生して自然に近い森となって読書をするに相応しい静かさを醸成し理想的な教育環境といえる。私設の前の通りは行き止まりで騒音もなく、園児や小さな小学生の感性を磨くのに適した空間である。

（８）石城寺の巨樹　　No. 143

所在地　　内成

大きさ

ケヤキ　No. 143　幹周 425cm　樹高 30m

枝張り〈東 15.2　西 14　南 12.3　北 9.3〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

石城寺は内成地区にある古刹で、ケヤキは伽藍の裏にあってひときわ高く聳え、四方に枝を広げている。樹勢は旺盛で幹周は市内のケヤキの中で最大である。株元はやや

石城寺のケヤキ

空洞がみられ祠が祭られている。

境内には巨樹に近いイチイガシが３本、クスノキが１本あって歴史を感じさせる。

（９）志高湖畔のヤマザクラ　　№ 236,237,238

所在地　　東山

大きさ　ヤマザクラ　№ 236 幹周 372m　樹高 15m 枝張り〈東 9.9 西 8.2 南 11 北 9.4〉m

ヤマザクラ　№ 237 幹周 338m　樹高 13m 枝張り〈東 9.1 西 9.2 南 5.6 北 8.5〉m

ヤマザクラ　№ 238 幹周 330m　樹高 16m 枝張り〈東 10 西 6.3 南 6 北 8.3〉m

指定状況　　市指定保護樹　平成 5(1993) 年７月１日　指定

これまでの経緯と現況

駐車場から湖畔に下る道沿いに立つ３本のヤマザクラで幹周の大きい順に横綱、大関、関脇の愛称がついている。花は近くに植えられたソメイヨシノのような艶やかさはないが、病害に強く３本の巨樹が並ぶ様は重厚感がある。

成長を続ける志高のヤマザクラ

（10）棚林のコジイとスダジイ　　コジイ№ 69　　スダジイ№ 89

所在地　　東山

大きさ　　コジイ　№ 69　幹周 582m　樹高 16m　枝張り〈東 60　西 12　南 13　北 9〉m

スダジイ№ 89　幹周 480m　樹高 18m　枝張り〈東 6　西 12　南 7　北 7〉m

指定状況　　別府市保護樹　昭和 53(1978) 年 11 月 29 日　指定

これまでの経緯と現況

コジイとスダジイは東山棚林地区の道路沿いの崖にあり 30 m程離れているが、いずれも幹周 300cm を超える巨樹に成長している。ことにコジイは民家の裏にあって株元近くで２分幹しながら樹勢は旺盛である。コシイ、スダジイともに温暖な低地の代表的な樹木であり、標高 600m 近くの丘陵地に巨樹として生育していることは稀である。

（11）旧山の口分校跡の巨樹　　№ 149.240.173

所在地　　東山山の口

大きさ　ハクモクレン № 149　幹周 245cm　樹高８m　枝張り〈東 5.8 西 6 南 8.1 北 6〉m

エドヒガン № 240　　幹周 467cm　樹高 12m　枝張り〈東 17 西 9.3 南 11 北 11〉m

クスノキ № 173　　幹周 433cm　樹高 15m　枝張り〈東 11 西 9 南 11 北 13〉m

指定状況　「ハクモクレン」のみ 市指定保護樹　昭和 55(1980) 年７月７日　指定

これまでの経緯と現況

ハクモクレンは市の保護樹として指定され名木として取り上げた。山の口分校跡地であり卒業記念樹と思われるが、詳細は不明。幹周 245cm はハクモクレンとしては大きい。その他校庭内にエドヒガンとクスノキの巨樹が生育している。これらも記念樹の可能性があり支障の無い限り保全することが望ましい。

3　森の中の巨樹

（1）竈門丘陵天孫降臨地のスダジイ　　No. 95,101,105,106

所在地　　内竈

大きさ　　すべてスダジイ

No. 95　幹周 415cm　樹高 18m

No. 101　幹周 380cm　樹高 18m

No. 105　幹周 358cm　樹高 15m

No. 106　幹周 356cm　樹高 18m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

標高 160m の丘陵斜面に残るスダジイの森でほぼ円形状にスダジイが生育し中央付近に天孫降臨の碑が建っている。1977（昭和 52）年と 2011（平成 23）年の調査記録があるが現在その周囲は雑木やつる植物の繁る藪で覆われ近寄れない。

森の規模から 20 本以上のスダジイが生育していると推定される。

（2）野田姫山のスダジイ　　No.　87, 88, 127

所在地　　別府市野田

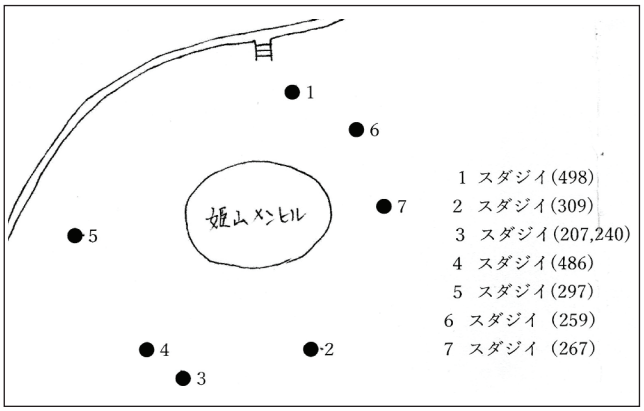
大きさ		幹周	樹高	枝張り
スダジイ	No. 87	498cm	20m	〈東 14　西 10　南 3.6　北 15〉m
	No. 88	486cm	20m	〈東 7.6　西 12　南 13　北 8.4〉m
	No. 127	309cm	18m	〈東 9.5　西 8　南 13　北 6.9〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

市営ザボン園の端の斜面に残る巨石（メンヒル）を囲むように残るスダジイを主体とした巨樹群である。1994 年の“別府の自然”には 18 本スダジイが記録され、300cm を超える巨樹は 417cm の 1 本であったが、今回 3 本確認できた。

亜高木層や低木層が欠如しており、現在は無指定であるが、低地の極相を代表する樹林として保護樹等の指定が望まれる。



野田姫山のスダジイの巨樹の位置

（3）鶴見権現社の森　　No. 66,90,97,104,117,125,126,215.120

所在地　　火売

大きさ			幹周	樹高	枝張り
イチイガシ	No. 66	幹周 373cm	樹高 30m	枝張り〈東 10 西 13 南 12 北 12〉m
スダジイ	No. 90	幹周 465cm	樹高 18m	枝張り〈東 10 西 13 南 12 北 12〉m
スダジイ	No. 97	幹周 403cm	樹高 28m	枝張り〈東 11 西 7 南 9 北 6〉m
スダジイ	No. 104	幹周 362cm	樹高 18m	枝張り〈東 15 西 9 南 11 北 12〉m

スダジイ　No. 117　幹周 329cm　樹高 30m　枝張り〈東 8.7 西 12 南 13 北 8〉m
スダジイ　No. 125　幹周 310cm　樹高 30m　枝張り〈東 9 西 10 南 8 北 15〉m
スダジイ　No. 126　幹周 309cm　樹高 25m　枝張り〈東 5 西 9 南 8 北 15〉m
クスノキ　No. 215　幹周 302cm　樹高 30m　枝張り〈東 10 西 12 南 12 北 14〉m
スダジイ　No. 120　幹周 325m　樹高 18m

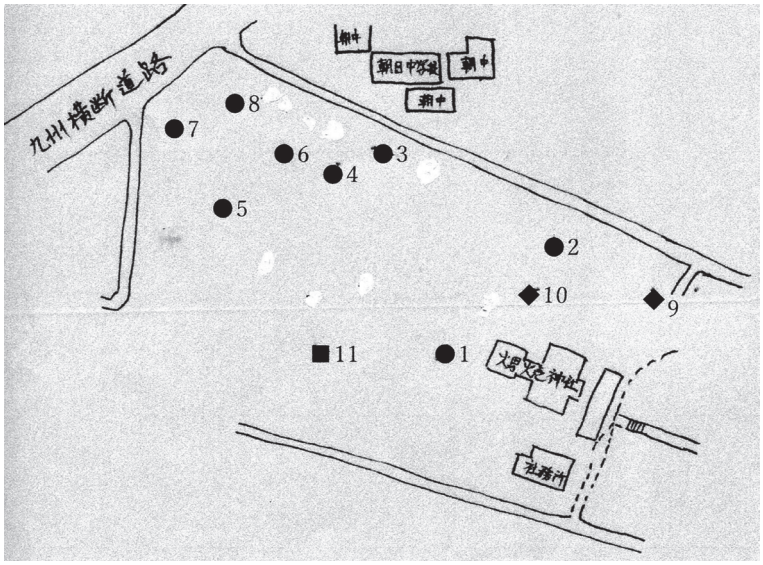
指定状況　県指定　天然記念物　　昭和 50（1975）年 3 月 28 日　指定
　　市生物環境保護地区として　昭和 52(1977) 年 7 月 19 日　指定

これまでの経緯と現況

鶴見権現社の境内林は樹林として県の天然記念物、市の生物環境保護地区との指定を受け保護されており、その中にスダジイ、イチイガシ、クスノキの巨樹がみられる。

神域であって自然林として保護されており土壌も肥沃で、投棄遺物なども少なく、樹勢も旺盛である。

鶴見権現社の森



1. スダジイ（５３１）
2. スダジイ（３１０）
3. スダジイ（３０９）
4. スダジイ（４０３）
5. スダジイ（３２５）
6. スダジイ（４６５）
7. スダジイ（３２９）
8. スダジイ（３６２）
9. イチイガシ（２６９）
10. イチイガシ（３７３）
11. クスノキ（３０２）

鶴見権現社の森の巨樹の位置

（4）猪の瀬戸水口山のケヤキとイタヤカエデ　　No. 144,145,256,257,258,259

所在地　　東山

大きさ　ケヤキ　No. 144　幹周 418cm　樹高 28m　枝張り〈東 16　西 8.8　南 14　北 16〉m
　　ケヤキ　No. 145　幹周 380cm　樹高 25m　枝張り〈東 18　西 8.3　南 7.9　北 15〉m
　　イタヤカエデ　No. 256 幹周 413cm　樹高 30m　枝張り〈東 19　西 12　南 14　北 14〉m
　　イタヤカエデ　No. 257 幹周 363cm　樹高 25m　枝張り〈東 18　西 8　南 7.9　北 15〉m
　　イタヤカエデ　No. 258 幹周 353cm 樹高 3 30m 枝張り〈東 8.9　西 11　南 11　北 21〉m
　　イタヤカエデ　No. 259 幹周 315cm 樹高 22m 枝張り〈東 13　西 7.4　南 11　北 10〉m

指定状況　　無

これまでの経緯と現況

猪の瀬戸湿原南に張り出した水口山はイヌシデ、クマシデ、ミズキなどの落葉広葉樹が茂り四季の変化を感じることができる。なかでもケヤキとイタヤカエデは山裾を流れる水口川に沿って生育していて亜高木のチドリノキやイロハモミジ、カナクギノキ、シラキなどを伴い、その紅葉は秋の到来を告げている。

4　外国産の巨樹

交通機関の発達に伴って、海外らの物流も増加し外国産の植物を見かけることが多くなった。早い時期に移入された成長の早い木本植物で、公園木のシナサワグルミや記念樹のヒマラヤスギのように既に巨樹に相当するものもみられる。

（1）中部中学校のアケボノスギ　No. 37　Metasequoia glyptosteroboides Hu & Cheng

所在地　東荘園（中部中学校）

大きさ　幹周　　324cm　樹高　20 m

中国原産の落葉針葉樹で属名のメタセコイアと呼ぶこともある。成長が早く並んだ紅葉は美しい。市内の学校の運動場や公園の周辺部に植栽され防風効果もある。

（2）鶴見丘高校のヒマラヤスギ　　No. 25　　Cedrus libaani　Loud.　var. deodara Hook.f.

所在地　　東荘園

大きさ　　幹周　339cm　　樹高 22m

ヒマラヤ原産の常緑針葉樹でヒマラヤシーダともいう。側枝は下垂し公園や学校の庭に植栽されている。成長が早く記念樹として用いられる。

（3）的が浜公園のシナサワグルミ　　No. 41　　Pterocarya stenoptera　DC

所在地　的が浜公園

大きさ　　幹周　327cm　樹高　12m　　枝張り（東 7.8　西 4.6　南 8　北 4.2）m

クルミ科で中国原産の落葉広葉樹。カンポウフウともいい、公園や街路樹に用いられる。別府市では的が浜公園内に 2 本植栽されているが、1 本は巨樹の大きさに達していない。

巨樹の保全について

この調査で記録された樹種の中ではクスノキ（64 本）とスダジイ（45 本）が突出しており、イチョウ（11 本）、アカガシ（10 本）イチイガシ（10 本）が続いている。大分県内の調査記録と比べるとほぼ似たような傾向であるが、亜熱帯性のアコウや深い渓谷を生育地とするカツラ、トチノキが欠如しており別府の自然の特性を知ることができる。

巨樹は種子または幼樹で持ち込まれて現在の地に根付き、落ち葉の散乱や枝の折損、害虫の発生などで時には厄介物の扱いを受けることもあるが、通常の暮らしの中では多くの場合、空気の浄化、緑陰の確保、防風・防塵効果、騒音の遮断など様々な機能を発揮して良好な生活環境の醸成に寄与しているといえる。それらの巨樹は永いものは、300 年を超え、少なくとも 100 年以上の年月を生き続けてきた地域の宝物である。

都市として発展するには、人々の暮らす生活空間、文化的空間、教育的空間など確保も必要であり、時として巨樹の生育する自然緑地が削られて消失している場合もある。これまでふるさとの地にあって長い年月生活を共にしてきた巨樹の持つ機能を可能な限り生かす賢い地域づくりの模索が望まれる。

巨樹の一部は天然記念物として文化財保護法、災害防止や緑化推進の観点から自然保護法で、また信仰の対象として保護されているが、多くはその生命を全うすることなく有用材として活用されたり自然災害等で終焉を迎えることが多い。今回の調査で野田姫山のスダジイや大観山のスダジイ、石城寺のケヤキのように未指定のものが数多く確認された。消失したものの回復は困難であり、今後、現存している巨樹の指定、保護に取り組み、別府の地がより一層住みよい故郷となることを望んでやまない。

参考文献

大分県教育委員会 (1991)　大分県の文化財

大分県自然保護推進室 (2011)　生物多様性大分県戦略　大分県

大分県植物誌刊行会 (1989)　新版大分県植物誌

小田毅 (2023)　大分県の巨樹 2022　大分県の植物　№ 33　P19~28　大分県植物研究会

小田毅・藤内広三 (2013)　別府市の保護樹　別府の文化財と保護樹 (改訂版)　別府市教育委員会

竹尾良造・荒金正憲 (1994)　別府市の巨樹と優れた木立　別府の自然

財・森林ネットおおいた (2019)　大分県の名樹

鈴木時夫 (1973)　大分県の植生　大分県

沼田　眞（1974）植物生態学　朝倉書店

別府市 (1974)　別府市環境保全条例・施行規則　別府市企画部公害予防課

【執　筆　者】

小田　　毅（別府市文化財保護審議会委員）
藤内　広三（別府市文化財保護審議会委員）

【調査協力者】
後藤　徹夫（別府市環境審議会専門調査委員）

べっぷの文化財　No.55
－ふるさと別府の地に育まれた巨樹の名木－

令和７年３月

発　行　　別府市教育委員会
編　集　　別府市教育委員会
　　別府市文化財保護審議会
印　刷　　大野印刷株式会社